

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	障害者（児）補装具交付・修理				事業番号	011-164	
担当部署名	健康福祉局	局	障害福祉部	部	障害支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
			有	取組の方向性	①相談支援体制の充実・強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画		
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第76条 堺市障害者等補装具給付金支給要綱 堺市難聴児特別補聴器等の購入等に要する費用の支給に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区					
6	事業の対象	身体障害者及び難病患者、身体障害者手帳の対象とならない軽度又は中等度の難聴児 ※身体障害者手帳所持者（約34,000人）				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	身体上の障害や難病を原因とした身体機能の制限を補うため、補装具の購入や修理に要する費用の支給を行い、もって、障害者児やその家族の福祉の増進を図る。					
8	事業内容	医師の診断等に基づき、身体上の障害や難病を原因とした身体機能の制限を補うための補装具（義肢や装具、車いす、補聴器など）の購入や修理に要する費用を支給する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第76条第1項に基づく補装具費の支給とは別に、補装具の購入に必要な費用の一部を支給している。					
9	主な支出先	支給決定を受けた方					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	身体上の障害や難病を原因とした身体機能の制限を補う						
	当該目標を設定した理由	身体上の障害や難病を原因とした身体機能の制限を補うことで、障害者児やその家族の福祉の増進を図ることができるため。					
	目標に対する実績	補装具費の支給を継続的に実施し、障害者児の自立支援に寄与した。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	支給件数		目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		件	実績値	1,794	1,677		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	補装具費の支給により、身体上の障害や難病を原因とした身体機能の制限を補うことができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値を設定になじまない。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者（児）補装具交付・修理	事業番号	011-164
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	199,621	228,774	206,585	239,881	228,401
	国支出金	96,833	104,408	102,005	118,792	112,942
	府支出金	49,560	56,686	51,289	59,396	56,759
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	53,228	67,680	53,291	61,693	58,700
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	200,431	229,584	207,425	240,721	229,271

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	R8	決算	23	23	障害児補装具費（市）	R7	決算	530	530
			予算	31	31		R8	予算	823	823
	障害者補装具費（国）	R7	決算	152,532	38,133		R7	決算		
		R8	予算	150,586	37,647		R8	予算		
	障害児補装具費（国）	R7	決算	85,052	21,263		R7	決算		
		R8	予算	75,298	18,824		R8	予算		
	障害児補装具費（府）	R7	決算	1,744	1,744		R7	決算		
		R8	予算	1,644	1,356		R8	予算		
	障害者補装具費（市）	R7	決算	0	0		R7	決算		
		R8	予算	19	19		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	支給件数	件	1,794	1,677
	②	上記①にかかる年間経費	千円	229,584	240,721
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	127,973	143,543
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	単位当たり経費については、物価高騰による福祉機器の価格上昇の影響もあり、約144,000円（うち国負担1/2、府・市負担1/4）と増加しているが、補装具が障害者児の身体機能を補完又は代替する義肢、装具、車いす等であり、1件ずつの費用が高額なものであること、また、その費用を助成することにより障害者児の社会参加の促進や自立支援に寄与することを考慮すると、過剰なものではないと判断する。 なお、難聴児特別補聴器等の購入等費用支給事業においては、対象者や基準額の拡充を求める要望があるため、今後も障害の状況等や費用対効果を見極め、拡充の可否を判断する必要がある。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、身体障害者児の日常生活や社会生活（職業生活）の便宜を図るために、身体機能を補うための補装具の購入・借受け・修理に要する経費を助成しており、障害者児及びその家族に対する支援に寄与している。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	評価期間を通じて本事業に係る助成総額はおおむね増加傾向となっており、事業の必要性は高いものと評価する。また、本事業は補装具費の支給を通じて障害者児の社会参加の促進や自立支援に大きく寄与しており、有効性も高いものと評価する。
	有効性	■ 高い □ 低い	